

令和 4 年 6 月 15 日現在

機関番号：82640

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K13750

研究課題名（和文）日本の外国人雇用と海外の日本人就業に関する実証研究

研究課題名（英文）Empirical Study on Foreign Workers in Japan and Japanese Workers Abroad

研究代表者

橋本 由紀（Hashimoto, Yuki）

独立行政法人経済産業研究所・研究グループ・研究員

研究者番号：30707675

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,031,070 円

研究成果の概要（和文）：外国人労働者の増加による影響は、地域に広く波及する前に外国人が集中する産業や職種の労働者や企業により強く観察される可能性が高いと考え、産業や企業における外国人雇用の影響を分析した。そして、企業は高技能外国人と非高技能外国人を明確に区別しており、日本の労働市場において両タイプの外国人は、全く異なるポジションに位置することを明らかにした。特に、非高技能外国人労働者の雇用を計画する製造業企業では、R&Dへの投資に消極的で労働集約的な生産に傾斜していた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

企業と労働者の労働需給の両方の観点から、日本の外国人雇用の特徴の一端を明らかにした。企業データの分析からは、雇用戦略・技術投資と外国人雇用の関係を明らかにした。労働者データの分析からは、外国人の人的資本や職業選択の特徴から、外国人労働者を通じてみえる日本の労働市場の質の変化の萌芽を明らかにした。

研究成果の概要（英文）：We examined the impact of foreign employment in industries and firms, considering that the impact of their increase is likely to be observed more strongly among industries and occupations where foreigners are concentrated. We found that firms clearly distinguish between highly skilled and unskilled foreigners and that both types of foreigners occupy very different positions in the Japanese labor market. In particular, manufacturing firms planning to hire less-skilled foreign workers were reluctant to invest in R&D and inclined toward labor-intensive production.

研究分野：労働経済

キーワード：外国人労働者

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

2010年代に入り、人口減少下での労働力確保が困難になるとともに、外国人労働者の受入れ拡大議論が活発化した。この中で、日本に居住する外国人労働者の様態を捉えようとする研究も増加していた。だが、外国人の様態を詳細に把握できるマイクロデータは質量ともに十分でなく、地域レベルの集計データを用いて、地域に外国人が増えた影響をみる研究が中心だった。また、英語では「immigrant (他国からの移民)」と「emigrant (他国への移民)」が区別されるように、移民は双方向的な存在であるが、国外の日本人就労者に着目した研究は少なく、包括的な定量分析はほとんど行われていなかった。

### 2. 研究の目的

(1) 本研究では、外国人労働者が増えたことによる影響は、地域に広く波及する前に、外国人雇用が増えた産業や職種の労働者や企業により強く観察される可能性が高いと考え、分析単位は、企業ないし外国人雇用企業の日本人雇用者として、産業や企業における外国人雇用の影響をみる。

(2) 経済のグローバル化とともに、国外での就労も人々の現実的な選択肢となる中で、国外就労者の人的資本と企業・労働市場との関係を明らかにする。

### 3. 研究の方法

(1) 外国人雇用に関する変数を含むデータを用いて、外国人雇用企業と非雇用企業を区別するデータセットを構築し、外国人雇用と企業業績・雇用戦略の関係性を実証する。具体的には、「賃金構造基本統計調査」や「国勢調査」などの政府統計、連合総研が実施したアンケート調査などの個票データから外国人就業企業を識別し、企業活動に関する変数を含むデータと接合したデータセットを用いて、外国人雇用の多い産業や企業の特徴を多面的に明らかにする。

(2) 「海外在留邦人数調査統計」等から時系列データを作成し、「国外で就労する日本人は、国内の労働者よりも特定職種で働く傾向が強まっているのか」など、国外の日本人労働者と国内の日本人・外国人労働者の属性や人的資本(学歴や職種)の特徴、その変遷を比較検討する。

### 4. 研究成果

(1) 外国人労働者に関する統計と労働市場へのインパクトに関する論文のレビューをまとめ、書籍の1章として公刊した( )。

(2) 「グローバル経済下の中小企業経営に関する調査(製造業)」アンケートの個票データを用いて、グローバル競争の激化と、外国人労働者雇用およびR&D投資予定の関係を分析した。そして、海外との厳しい競争を実感する企業は、非高技能外国人労働者の雇用を考える確率が高いだけでなく、R&Dへの投資にも消極的となることが明らかとなった。特に日本人労働者が充足する中でも非高技能外国人労働者の雇用を計画する企業では、日本人ブルーカラー労働者から非高技能外国人への切り替えという代替関係が示唆された。1990年代後半の製造業中小企業の労働集約的な生産への志向は、その後の「失われた30年」で顕在化した日本の中小企業の低生産性の一因としても解釈しうる。

(3) 外国人と日本人の賃金に関する研究では、2019年度の「賃金構造基本統計調査」を再集計し、賃金率を共通の指標として、日本の労働市場内での外国人労働者や雇用事業所の位置を横断的に整理した。そして、外国人高技能者と非高技能者の間では賃金の水準や上がり方が大きく異なり、両者は労働市場内で明確に区別されていることを確認した。非高技能外国人の中でも、技能実習生の処遇は特に低く、正規雇用者や非正規雇用者など技能実習生以外の外国人グループの賃金にキャッチアップするようなキャリアラダーも見出せなかった。また、事業所レベルでの分析からは、外国人の賃金率が高い(低い)事業所では、同じ事業所の日本人の賃金も高い(低い)ことがわかった。総じて、事業所は高技能外国人と非高技能外国人を明確に区別しており、日本の労働市場において両タイプの外国人は、全く異なるポジションに位置することになる。

(4) ブラジル人の残留・帰国行動を明らかにする研究では、金融危機後に日本に残留したブラジル人と、母国に戻ったブラジル人の特徴を分析し、不況期に生じた移住労働者の質の変化(セレクション)を捉えようとした。20代以下の若年層や大学卒業以上の高学歴者が多く帰国した可能性や、日本語能力が高くない者、5年未満の滞在者、単身者が早期に帰国した傾向は、世界各

国の帰国移民の研究で明らかにされたパターンと異なるものではなかった。また、高技能者の遅い帰国、非高技能人材の帰国支援金受給傾向、早期帰国や帰国支援金利用が日本での不本意就業と関連していたことも明らかとなった。この研究は、企業の労働者需要の落ち込みに対する、労働者の対応の一端を明らかにした研究として位置づけられる。

(5) 日本人国外就労者と日本の外国人就労者の人的資本を比較し、労働者の流出入の両面から日本の労働市場の質の変化を評価しようとした。日本で働く外国人の人的資本については、「国勢調査」データを分析し、高技能外国人の職業選択の特徴を明らかにした。分析の結果、大学卒業直後に日本で就職しなかった外国人は、内部労働市場への参入が難しく（企業特長的ではない）一般的な技能や外国人固有の技能を用いた専門・技術的な職業に就く確率が高かった。また、このような外国人の就業場所は、国籍に関係なく、高技能外国人のネットワークの影響をより強く受けていた。しかし、日本人国外就労者の分析については、日本人労働者の多い国のセンサスが予定通りに公表されなかったため、研究期間内での分析を断念せざるを得なかった。

#### < 引用文献 >

神林龍，橋本由紀，移民・外国人労働者のインパクト—研究動向と日本におけるデータ，日本の労働市場—経済学者の視点，2017，182 - 213

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 Yuki Hashimoto	4. 巻 20-E-071
2. 論文標題 Global Competition, Worker Retention, and Immigrant Employment in Manufacturing SMEs	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 橋本由紀	4. 巻 20-P-013
2. 論文標題 誰が去り、誰が残ったのか：金融危機後に日本から帰国したブラジル人のセレクション	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Policy Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Sato Kaori, Hashimoto Yuki, Owan Hideo	4. 巻 53
2. 論文標題 Gender differences in Career	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101028 ~ 101028
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.jjie.2019.04.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 橋本由紀	4. 巻 79巻4号
2. 論文標題 ポーターレス化の進展と交通	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 運輸と経済	6. 最初と最後の頁 134-138
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto Yuki	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Labor share and firm's performance	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Public Policy Review	6. 最初と最後の頁 183-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto Yuki	4. 巻 17-E-59
2. 論文標題 Highly-skilled Immigrants' Occupational Choice and the Japanese Employment System	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本由紀	4. 巻 130
2. 論文標題 企業業績からみた労働分配率	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィナンシャル・レビュー	6. 最初と最後の頁 121-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本由紀	4. 巻 -
2. 論文標題 日本の労働市場と外国人労働者 - 外国人の賃金率、雇用企業の生産性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 外国人労働者の適正な受入れと 多文化共生社会の形成に向けて	6. 最初と最後の頁 40-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 橋本由紀
2. 発表標題 外国大学卒業者の日本での就労
3. 学会等名 タイ日研究ネットワークThailand2019（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 橋本由紀
2. 発表標題 The Determinants of Ethnic Diversity in Firms: The Case of Manufacturing SMEs in Japan
3. 学会等名 The 16th International Convention of the East Asian Economic Association（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋本由紀
2. 発表標題 Highly-skilled Immigrants' Occupational Choice and the Japanese Employment System
3. 学会等名 日本経済学会2017年度秋季大会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 川口大司（編著）、神林龍、橋本由紀	4. 発行年 2017年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 415
3. 書名 「移民・外国人労働者のインパクト 研究動向と日本におけるデータ」 『日本の労働市場』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------